

選挙と政治の話 2023

明日のために
僕たちができることを

特別
対談

18歳新成人
鈴木 福

政治学者
佐々木 毅



公益財団法人 明るい選挙推進協会

この冊子は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



宝くじは、みんなの暮らしに
役立っています。



移動採血車



ユニバーサルデザイン施設
ピクニックテーブル



一輪車



宝くじ桜



こどもの国 ふれあい学び館



地震防災体験装置



星空観察映像展示施設



ドリームジャンボ絵本



消防団防災学習・災害活動車両



テント



総合検診車



フラワープランター

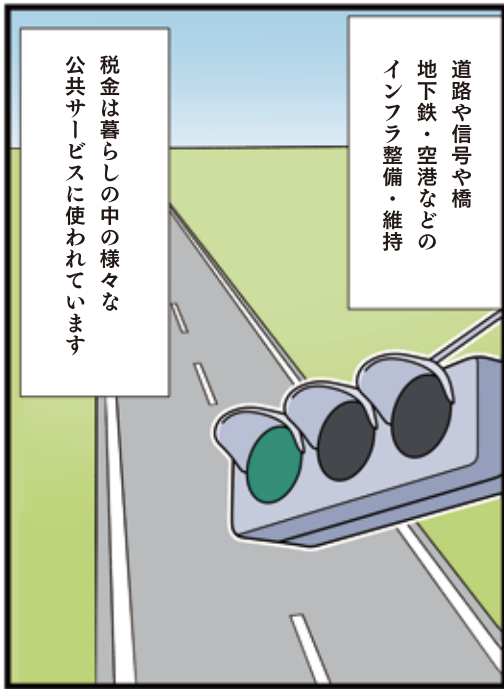
宝くじは、図書館や動物園、学校や公園の整備をはじめ、
災害に強い街づくりまで、みんなの暮らしに役立っています。



一般財団法人日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や
公益法人等が行う社会に貢献する事業への助成を行っています。

一般財団法人
日本宝くじ協会
<https://jla-takarakuji.or.jp/>

発行・公益財団法人 明るい選挙推進協会 〒100-0002 東京都千代田区千代田1番町13-3 ユニオンビル1番町階
TEL:03-6808-6811 FAX:03-6525-6080 <http://www.akarisensyo.or.jp/>



税金は暮らしの中の様々な
公共サービスに使われています

道路や信号や橋
地下鉄・空港などの
インフラ整備・維持

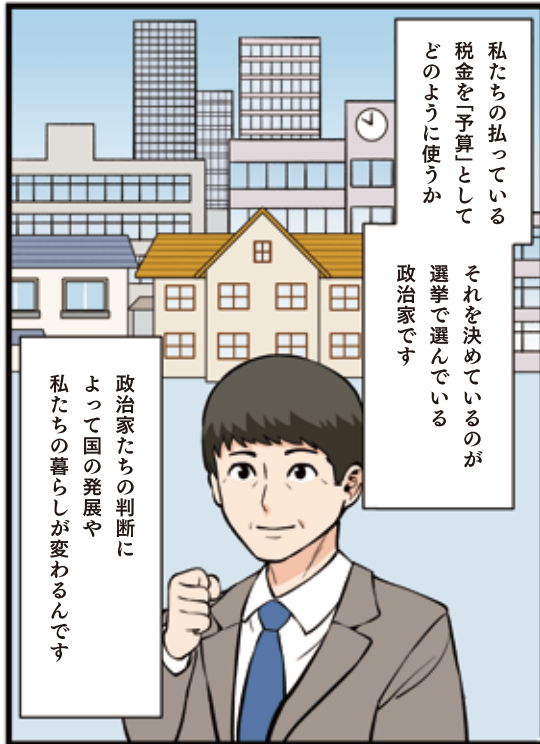


警察や消防といった
街の安全を
守るためだったり



しっかりした
人に決めて
もらいたいですよね

私たちの
払っている
税金の使い方



私たちの払っている
税金を「予算」として
どのように使うか

それを決めているのが
選挙で選んでいる
政治家です

政治家たちの判断に
よって国の発展や
私たちの暮らしが変わるんです

1限目 選挙は 何のためにするの？



でも選挙は
私たちの生活と
とても関係があるんです

みなさん選挙なんて
自分には関係ないと
思いませんか？



今回は
先生役のスタイルで
案内します

ぼくは
「選挙のめいすい」くん
明るい選挙の
イメージキャラクターです



この税金は
みなさんの暮らしの
ために使われているんです



就職すると
所得税や住民税なども
払うようになります

みなさんは
買い物やときに
消費税という
税金を払っています



公立病院などの
医療や福祉の
ためだったり



たとえば学校や
図書館など教育に
関することだったり

コラム Column

2021年の第49回衆議院選挙では、18・19歳の投票率は43.2%、20歳代の投票率は36.5%でした。半分以上の若者が選挙に行かなかったのはなぜなのか。選挙後の意識調査で、18～29歳の若者は主に次のような棄権理由を回答しました。

- ・選挙にあまり関心がなかったから 46.7%
- ・仕事があったから 37.8%
- ・重要な用事(仕事を除く)があったから 22.2%
- ・政党の政策や候補者の人物像など、違いがよくわからなかったら 20.0%
- ・適当な候補者も政党もなかったから 17.8%
- ・私一人が投票してもしなくても同じだから 17.8%
- ・政治のことがわからない者は投票しない方がいいと思ったから 15.6%

「第49回衆議院議員総選挙全国意識調査」明るい選挙推進協会

Q 若者の投票者数は他の年代とどれくらい差があるの？

2022年の参議院選挙の結果をもとに、概算してみると・・・

18～29歳の投票者数

(18～29歳人口) × (年代別投票率)
1411万人 × 34.23% = 482万人

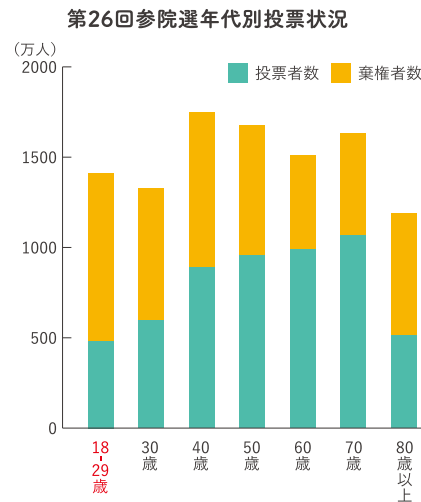
60歳代の投票者数

(60歳代人口) × (年代別投票率)
1510万人 × 65.69% = 991万人

18～29歳と60歳代の投票者数を比べると約2倍の差が！

候補者に高齢者向けの政策をアピールしなくちゃと思われちゃうかもしれないよ

そういうことかー



総務省「人口推計(2021年10月1日現在)」及び「第26回参議院議員通常選挙年齢別投票者数調査(抽出調査)」より作成

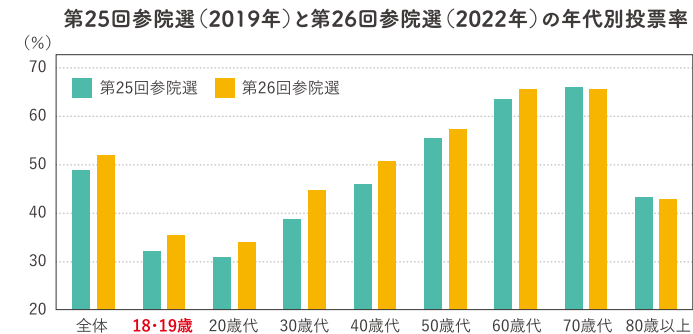
若い人は選挙に行っているの？



18歳から選挙に行けるようになったけど、行かないっていう人もけっこういるのかな…。「若者の選挙離れ」なんて言われるけど、大丈夫かな？

Q 私たちの年代の投票率が低いって本当？

2015年に選挙権が18歳以上に拡大。それから参議院選挙が3回、衆議院選挙が2回行われましたが、18・19歳の投票率は、5回とも全体の投票率よりも低く、年代別では20歳代に次いで低い状況です。



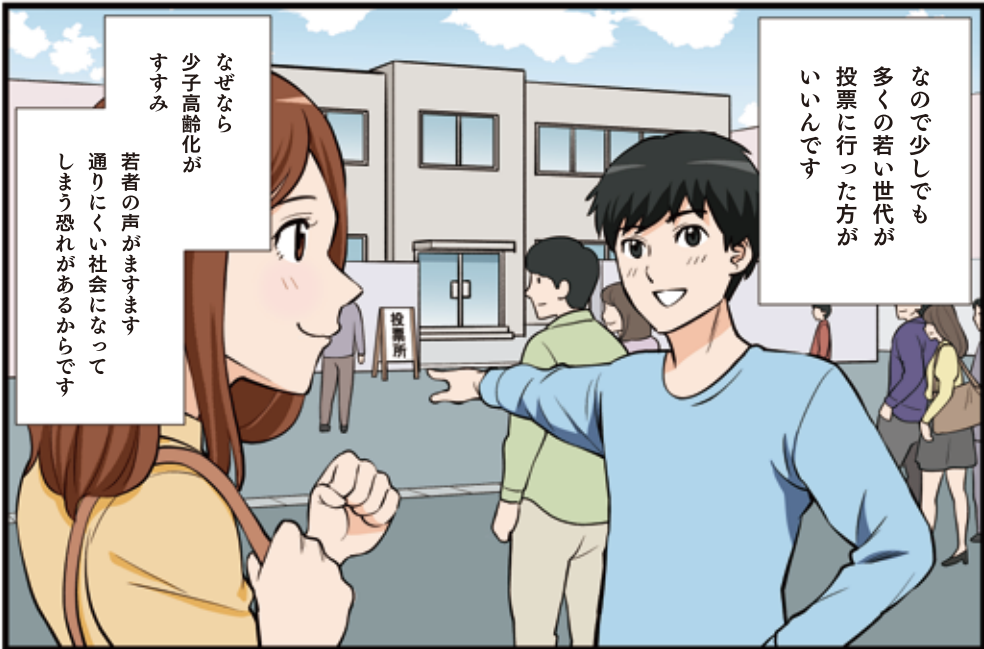
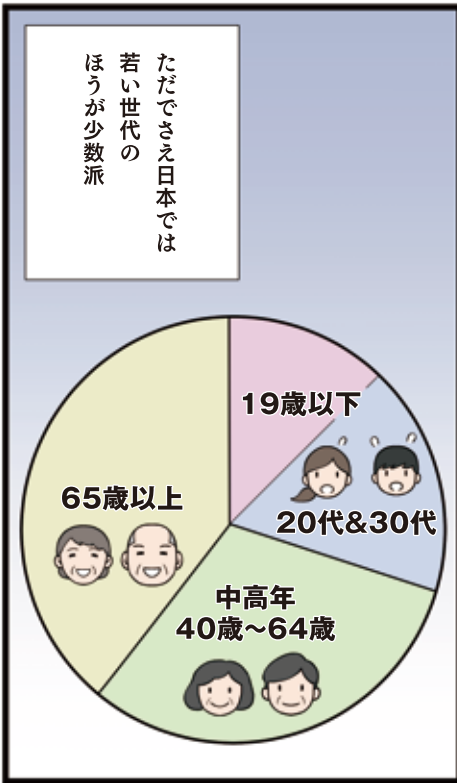
えっ!?こんなに低いの？



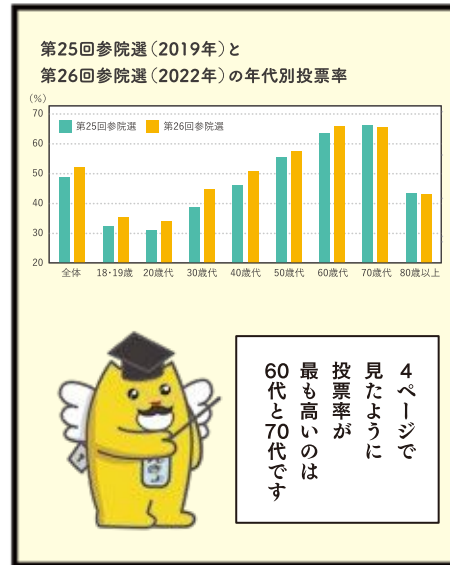
全体の投票率も低下傾向が続いています。若者が投票に行かない状況が続くと、さらにこの傾向が進んでしまうかもしれません。

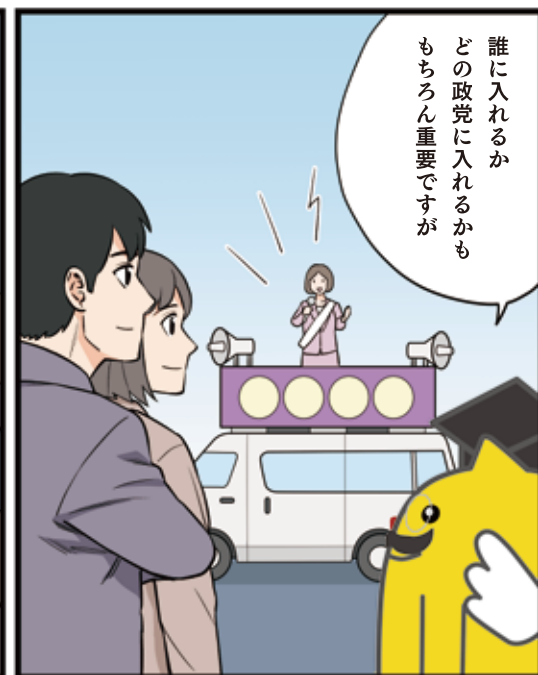
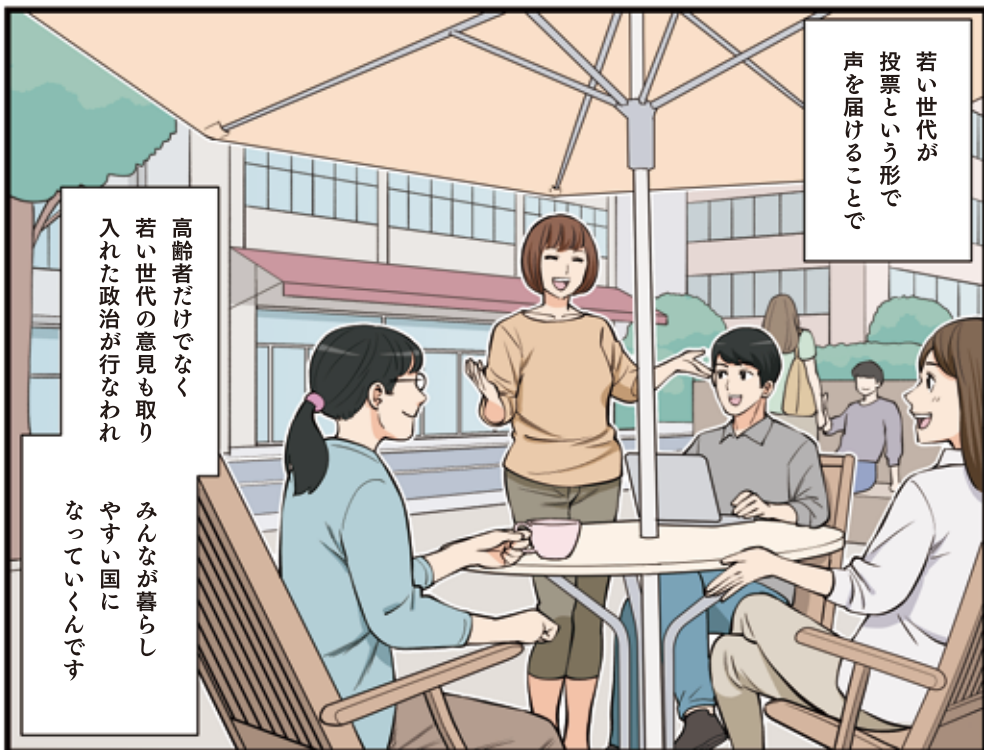
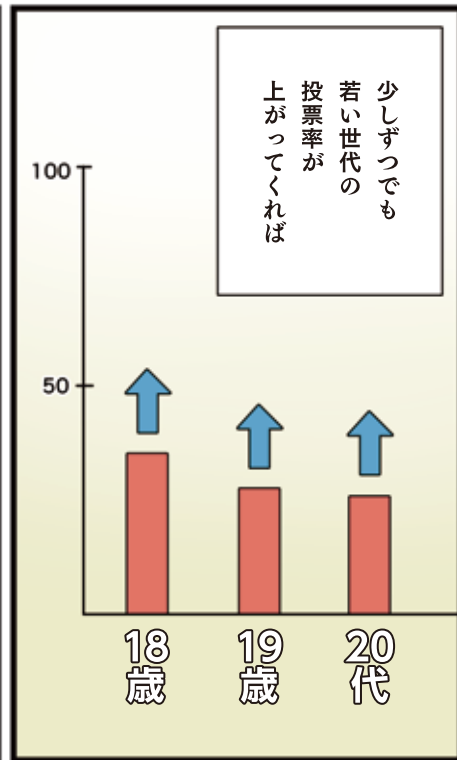
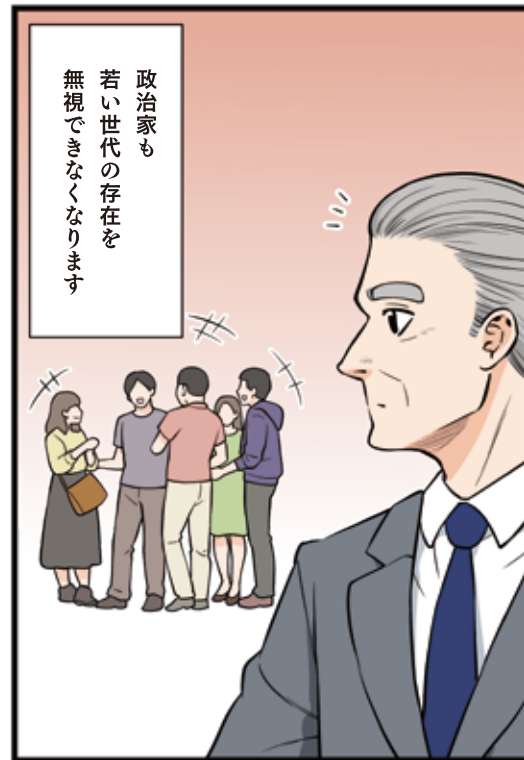
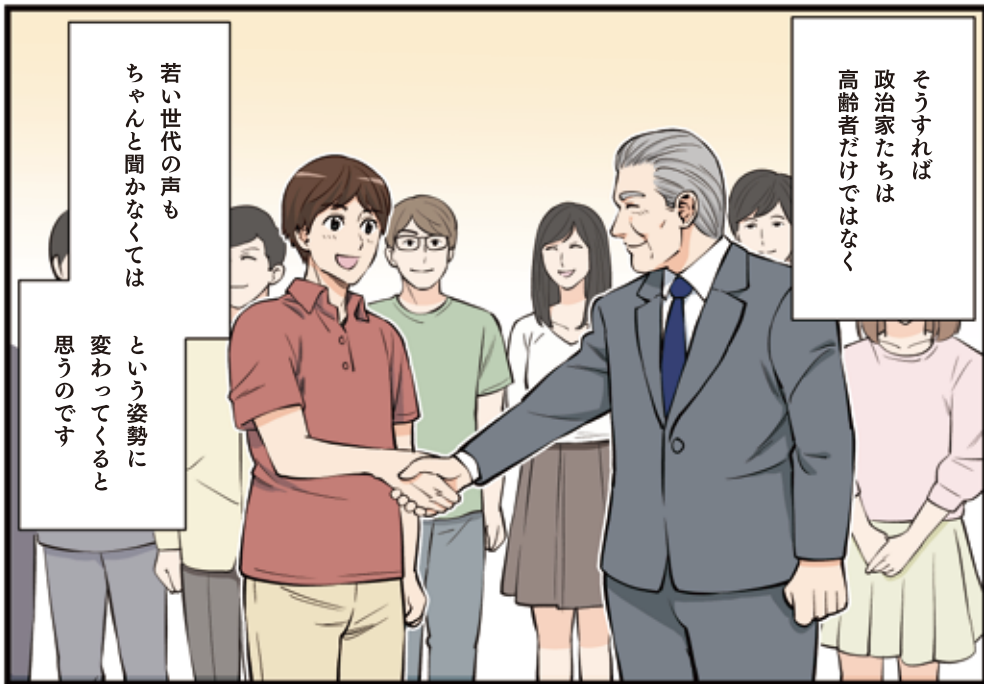
参院選の投票率(全体)の推移





2限目 選挙に行かないとどうなるの?





Q 投票したら、それで終わり?



投票で選ばれた人は、知事や市区町村長となったり、国や自治体の議員となって、私たちのために働きます。しかし、選挙のときに「私は〇〇することを公約とします」と言っていたのに、当選した途端になかったことにする人がいたらどうでしょう。当選した人が、その後どのようなことを話し、行動しているか、監視することが大切です。公約をしっかり守り、実現できたかということは、次回の選挙の判断材料となり、その積み重ねであなたの政治を見る目が磨かれていきます。



公約やぶりも
あるんだね



へんな公約も
あるけどね…

コラム Column

街頭で署名活動している人を見かけたり、ニュースでデモ行進している人を見たことがあるよね。政治に関わり、参加する方法は多種多様。社会のあり方や課題に関心を持ち、その課題に取り組もうとする人々が、それぞれ自分に合った方法で活動しているのです。

署名活動

意見に賛同する人に名前を書いてもらい、政府などに提出すること

請願

国や自治体に意見や要望、苦情を提出すること。憲法で保障されている権利

議会の傍聴

国会や自治体の議会で、議論の様子を聞くこと

けっこう私たち
世代の身近に
あるものなんだね

インターネットで
集める署名もあるね

SNS発の
社会運動もある

※政治に関わる方法は、ほかに直接請求やボランティア活動、賛同する政治家などへの寄附など、様々なものがあります。

政治参加ってなに?



若者の投票率が低いけど、政治って、なんだか難しいし、関わる必要ってあるのかな…?

Q どうして政治に関わらなくちゃいけないの?



民主主義とは、自分たちの社会のあり方を自分たちで決めるということ。自分が、すべての人が、よりよく暮らしていくために、どういう社会にしていけるのか。社会の一員であるあなたは、自分の意見を持って、政治に参加してそれを示していくことが求められています。みんなが意見を出し合って話し合う、そうしなければ、自分たちが暮らす社会がよいものになっていかないので。

Q 投票、それは政治参加の第一歩?

選挙は、私たちがよりよい暮らしを願って、私たちの代わりにその思いを実現してくれる政治家を選ぶ仕組み。18歳以上の日本の国民はすべて、国や自治体の選挙で投票する権利を持っています。^(※)投票は、最も基本的な政治への関わりとして、国民に保障されている大切な権利なのです。

※自治体の選挙については、その区域に3か月以上住所を有する者という住所要件があります。



でも、少子化で
若者は少ないし、
声が届かないじゃ…



だからこそ少しでも
若い人の投票率を
上げることが大切よ!

3限目 候補者や政党はどうやって選べばいいの？



それらを見ても
判断がつきにくい
という人も多いと思います



当選したら
どんなことを
実現させるか

約束事として発表するものを
「選挙公約」または
「マニフェスト」といいます

候補者や政党を選ぶのに
参考になるのが「選挙公約」や
「マニフェスト」です



選挙が始まったとき
誰に投票すればいいか

どの政党に投票すれば
いいかわからない
という意見をよく聞きます

何をみて
どうやって
選ぶか



まずは「今の」政治を
ニュースなどで見て

「今の政権」を支持
するかどうかも大きな
基準になると思います



そんな時は
自分なりの
「選ぶ基準」を
決めてみましょう



候補者のホームページや
SNS・ブログを見て

その人の実績や政策
考え方をチェック
することもできます



選挙ポスターには
候補者の顔と
キャッチコピーが書いて
あったりします

経済政策をどう考える？

各政党のスローガン

| | |
|---|-------|
| A | ===== |
| B | ===== |
| C | ===== |

内容がすべてわからなくても
自分の興味のあるポイントだけでも
比較してみるといいでしょう

子育て、教育
働き方
社会保障

選挙の時期になると
選挙管理委員会が
発行する「選挙公報」や
新聞社などの
メディアが各政党の
政策や考え方を
まとめたページを
作っているのだから
それをチェックするのが
わかりやすいです

たとえば今の
経済や外交・教育・福祉など
まずは自分の気になる
ところだけでもチェックして

「満足してる」か
「これじゃあ不安だ」と思うか
そうやって判断してみましょう

〇〇〇党の政策

| | |
|---|---------|
| △ | 雇用・経済 |
| ? | 外交・防衛 |
| × | 子育て・教育 |
| △ | 医療・福祉 |
| ○ | エネルギー問題 |

「今の社会や生活」で
満足するならば同じ政党を
ちよっと不満が
あるならば別の政党を
応援してみようかな
という考え方もできます

またインターネットの
サービスで「ポートマッチ」
というものがあります

これは質問に「YES/NO」で
答えていくと自分の意見に近
い政党がわかる仕組みで

特に国政選挙の選挙期間中
新聞社などが特設ページを
作っています

一度「ポートマッチ」で
検索してみてください

あなたの考えに
近いのはB党です

女性の方が
共感が持てるかな？とか
若い人の方が改革を
起こしてくれるかも？とか

逆に経験のある
ベテランの方がいいな
なども考えやすいですね

また
候補者の年齢や性別も
一つの判断基準になります

男 or 女
若者 or 年配

投票の前には情報収集を

政党や政治家の考え方の違いは分かりにくかったりします。
 どうしたら、それぞれの主張の違いを知ることができるだろうか？

Q 自分が関心を持っていることを、行政や政治家がどのように考え、取り組んでいるかを知るには？

様々な媒体から情報を得ることができます。まずは自分の関心のあるところから調べてみよう。

国や自治体のウェブサイト

国や自治体の政策の詳細を知ることができる



政治家や政党のウェブサイト

政策・主張などを知ることができる



国会中継の視聴、自治体議会の傍聴

国会や多くの自治体議会インターネット中継がある



自治体の広報誌や議会だより

都道府県や市区町村の行政や議会が発行している広報誌



報道

選挙前には、候補者や政党の政策・主張や選挙の争点などが特集される



政見放送

候補者や政党がテレビやラジオに出演して、政策・主張が発信する



選挙公報

選挙管理委員会が各世帯へ配布する。候補者のプロフィール、政策・主張を掲載



演説会

候補者や政党が政策・主張を述べて、有権者に投票を呼びかける



ポータルマッチ

争点に関する質問に答えると、自分の考えに近い候補者や政党が表示されるインターネット上のコンテンツ



日常的に利用できる 選挙期間中に利用できる

関わりのタネを見つけよう！

身の回りで困っていることって、結構あるけど、それと政治って関係していたりするのかな？



Q 政治を“自分ごと”に結びつけるには、どうすればいい？



まずは身の回りのことでも、ニュースで見聞きしたことでもいいので、あなたが「困っていること」「気になったこと」を思いつく限り書き出してみよう。それがあなたの「政治」との関わりのタネに。自分の関心事が、実際の政治とどう関わっているのか調べて、そのタネを育てていこう。

困っていること・気になっていること

1. _____
2. _____
3. _____
4. _____
5. _____

例) 駅までの道が暗い、アルバイトのシフトが減った、海面の上昇、児童虐待 など

コラム Column

2020年2月頃、「中国で、マスクの増産に伴いトイレットペーパーの生産がストップするため、日本で品不足となる」という情報がSNS上で飛び交い、各地で買いだめの動きが広がった。実際には在庫はたくさんあったのに、店頭からトイレットペーパーが消えてしまったのだけれど、なぜ事実と異なることを、たくさんの人があっさり信じてしまったのだろう。

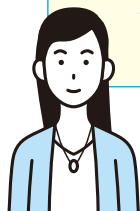
このときは政府や業界団体が、「トイレットペーパーはほとんどが国内工場生産されていること」、「原材料の調達に中国に依存しておらず、製品在庫も充分にあること」を発表。騒ぎは次第に沈静化していった。

「出典を確認してみる」「グラフの一部しか使っていないようなものにだまされない」「ほかのメディアでどのように報じられているか確認する」「公的機関のサイトで、関連情報がないか探す」などの方法がある。うのみにしてそのままツイートやシェアしたりせず、その前に一度調べてみよう。

バズってるからって、
情報が正しいとは
限らないということか…



ネットのアンケート調査の数字も、
回答者の属性に
偏りがあるかもしれないから
気を付けないとね



Q ネットで記事を見ているから、大丈夫？

インターネットに掲載される記事は、読む人の属性や嗜好によって表示されるリンクが変わってきます。気を付けないと、同じような論調の記事ばかりを読んで、偏った見方が強まってしまうことがあります。色々なところから情報を取り込むように意識しましょう。



反対意見は
どんなのがあるかな

メディアリテラシーを養う



情報集めのときに、よく「メディアリテラシーを持って」と言われるけれど、なぜ必要なんだろう。どうしたら、手に入るのだろうか。

Q メディアリテラシーって、なに？



事実が1つだとしても、それを伝える情報の解釈は同じではありません。メディアリテラシーとは、メディア（情報を伝える媒体）の特性を理解した上で、情報をうのみにせず、比較・検討し、自分なりの考察を加えるなどして情報を吟味する能力のことです。情報が氾らんしている世の中だからこそ、求められています。

Q TVや新聞で言っていることはみな同じ？

同じ事件・問題を扱う記事でも、TVや新聞ごとに報じている内容は違います。それは事件・問題のどこが重要で、何について伝えるべきか、メディア各社で考えが違うからなのです。特に新聞の社説は、それぞれで主張・論調がだいぶ違います。いくつかの新聞を読んで、いろいろな見方・考え方を身につけることが大切です。

例えば2021年にスタートした大学入学共通テストについての記事では…



C紙

「知識偏重」とされて
いた去年までのセン
ター試験に代えて行わ
れた新方式の試験で
あった

B紙

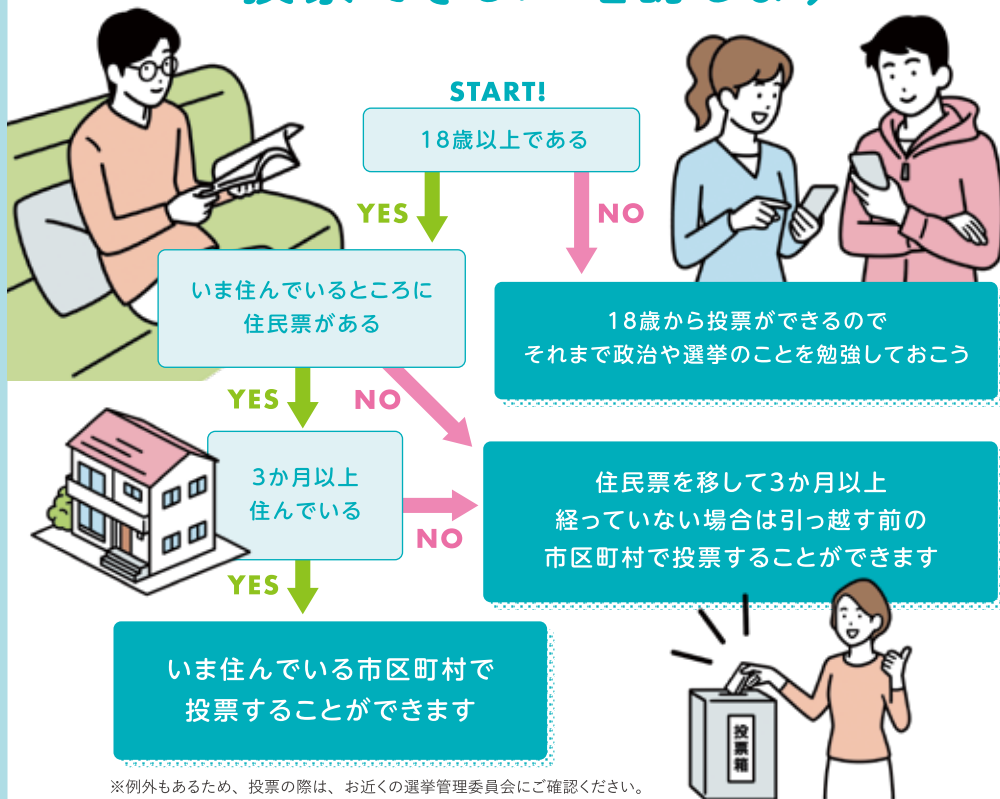
去年はコロナ禍で長期
休校があったことか
ら、今回のテストでは
現役生に配慮した工夫
がなされていた

A紙

少子化で将来的に受験
者減が課題となってお
り、来年度から年間5
億円という恒常的な赤
字となる

同じ出来事でも、
どこを掘り上げるかは様々だね

いま住んでいる地域で 投票できるか確認しよう



もし都合がつかず
帰れない方は
「不在者投票（P21参照）」
を利用することができます



住民票を移してから
3か月経っていない場合は
引っ越し前の市区町村に
帰って投票に行きましょう！

※地方選挙においては、
当該選挙の区域外に引っ越した方は投票できません。

引っ越し先で投票ができるよう 引っ越しをしたら 住民票を異動しましょう！

住所が変わったら、転出・転入の手続きをすること、
つまり住民票の異動が必要です。

手続きは
カンタン！



転出前

引っ越し前の市区町村

引っ越し前の市区町村の役所の窓口で転出届を提出し、
転出証明書を受け取る



転出転入した日から14日以内

引っ越した後の市区町村

転出証明書を添えて、引っ越した後の役所の窓口で転入届を提出

転入届の提出の際、 「マイナンバーカード」の 記載事項の変更が必要です。

※マイナンバーカードをお持ちの方は、
引っ越し前の市区町村には転出届を郵送し、あとは、引っ越した後の
市区町村の窓口で転入手続きをすれば足够了。



誹謗中傷・なりすましなどに 関するルール

候補者に関する ウソの情報の公開はNG!

候補者を当選させる、またはさせない目的で、候補者に関する虚偽の情報や、真実を歪めた情報を広めたりすると罰せられます。



名前などを偽って 送信するのはNG!

候補者を当選させる、またはさせない目的で、ウソの名前・名称・身分を名乗って、インターネットで情報を発信することは禁じられています。



悪質な 誹謗中傷行為はNG!

人の名誉を損なう目的で、事実を公にすると罰せられます。また、事実を明らかにせずとも、公然と人を侮辱することも禁じられています。



候補者などの ホームページの改ざんはNG!

候補者のホームページを改ざんするなど、不正な方法で選挙の自由を妨害することは犯罪にあたります。



インターネット選挙運動に 関するルール

メールを使っての選挙運動はNG!

メールで選挙運動用の文書や写真などを送ることができるのは、候補者や政党だけ。候補者や政党から送られてきたメールを転送してもいけません。



ホームページやメールなどを 印刷して配るのはNG!

選挙運動用のホームページや候補者・政党などから届いた選挙運動用のメールなどをプリントアウトして配ってはいけません。

選挙運動期間以外の選挙運動はNG!

インターネット選挙運動が認められるのも公示日・告示日から投票日の前日までです。

金銭に関するルール

選挙運動でバイト代をもらうのはNG!

選挙運動の手伝いはボランティアが基本。専門職であるウグイス嬢などを除き、投票を呼びかける電話やピラ配りなどでアルバイト代をもらってはいけません。ただし、立候補準備行為等、単純な機械的労務(例:葉書の宛名書きなど)に従事した人は受け取れます。



政治家から卒業祝や 就職祝をもらうのはNG!

現職の政治家や立候補の意思のある人が選挙区内の人や団体に金銭や物を贈ることは禁止されています。

若者と選挙について

鈴木氏 佐々木会長は政治学をご専門にされていますが、選挙について色々伺いたいです。僕自身18歳になって、初めて選挙のお知らせが家に届いていて、投票に行こうと思っているんですが、若者の投票率が低いということについてはどうお考えですか？

佐々木氏 よく「分からないから選挙に行かない」という若者の意見を耳にしますが、大人たちだって分からない。どう投票したらいいのか迷いながら選挙に行っている。そのことを率直にお互い話し合って、それな

りに納得する、あるいは安心するという平常心で選挙に直面してもらいたいなと思います。「分からないから、いろいろ難しいから、私たちが行っていいんだろうか」と考えるよりも、まず行くということを決めて、そして少しずつ勉強を積み重ねていくという気持ちで十分だろうと思います。

鈴木氏 誰に投票するか、どの政党に投票するかというよりも、まず投票に行くということですね。

佐々木氏 そうですね。僕はそのほうがいいんじゃないかと。自分と全く同じ考えの政党を探してもなかなか



18歳になり新成人となった

俳優の鈴木福さんが、選挙や政治について
政治学者・佐々木毅氏と対談。

政治学者
明るい選挙推進協会会長

佐々木毅



18歳新成人

鈴木福

特別対談

(2022年7月に収録)

見つからないだろうと思います。気が付いたらその政党も別のことを言っていることだってあり得るわけで、政党との関係、政治との関係は一定の距離を置きながら、いろいろ見方を変えるなどして、長い付き合い方をしていくのがいいのかな。

鈴木氏 ありがとうございます。それこそ、もうすぐ選挙というタイミングで、学校でも先生から「選挙に行くの？」と聞かれるんです。「行くとします」という子もいれば「分からないから行かない」という子もいるんですが、これはやっぱり学生に対する選挙の説明というのがあまりされてな

いからじゃないかと感じていきます。学校からの説明というのが選挙法的にできないんですよね？「どの政党がこういうことを言っているよ」とか、そういうことを教わる、知る機会がないから、若い人たちの選挙への意識が低いのかなと。自分たちから知りに行かないと情報を得られない。それが投票率を低くしているんだと思います。それに関してはどうお考えですか？

佐々木氏 学校で「じゃあ、この次の選挙は〇〇党に入れましょう」というようなことをやるわけにはいかな。投票する本人がいろんなアプローチを試みて、政

党や候補者との接点を見出して投票に行く必要があります。選挙には手間もかかるし、時間がかかる。しかも、全体からして自分の一票なんかたかが知れている。だから、そういう意味で選挙は行かないのが一番合理的だという議論はよく起きます。一番簡単なのは、分らないことになってしまうというのが一番楽なわけで。「分からないから、行かない」という。でも若者だって、消費税は払っている。じゃあせっかく払った税金分ぐらい、自分の意思を政治に反映させるようにすべきではないかといった議論もあります。ただ言えるのは、自分が政党や候補者との関係を詰めていくという作業は、最後まで有権者に残る義務だったり、権利だったりするわけです。権利と言うか、義務と言うか、それは人によって違うか

とかより僕たちに大きく影響する政策などがあれば投票するとは思うんです。

佐々木氏 その現状は容易に想像できるんですけど、それでも若い人たちを念頭に置いた政策論は以前よりは少し出てきた。例えば社会保障政策にしても、かつては70歳以上の人をどうするというのが、全世代が対象であるというように、少しは変わってきている。そして、これは難しいんだけど、例えば被選挙権を何歳にするかとか、そういう議論もあるかもしれない。

鈴木氏 そうですね。僕自身もすごく感じるのが、議員に立候補できるのが、衆議院選挙でも25歳で、参議院選挙で30歳じゃないですか。

もしれない。そのあたりが若者に選挙の話をするときに難しいところなんです。だから、年配者がその厄介さを分かってあげることが大事です。あるいは、自分もかつては選挙のことが分からなかったけど、どうして選挙に行くようになったかを学生や若い方と意見交換するのもいいかもしれない。



25歳だとしても僕のような18歳とは7歳年が離れている。それだけでもジェネレーションギャップが出てくると思います。年齢が高い方々というのは、代表する同年代の候補者の方々が毎年いらつしゃると思うんですが、0歳から24歳までの方々の代表は、25歳あるいは30歳以上の方に任せなくてはいけない。そうすると、やはり若者の声というのは届きにくくなるのかなと感じています。

佐々木氏 なるほど。重要な指摘をいただきました。被選挙権の問題はやっぱり非常に大きなテーマかもしれない。

鈴木氏 はい。やはり何事にも共感だったりとか、親近感というのが、すごく大事なのかなと思っていて、

鈴木氏 そうですね。やはり学校教育というのが僕はすごく重要だと思っていて、学校の中で政治や選挙というものをもっと深く教えていただけたら、より興味を持って自分たちで情報を得るようになるんじゃないかなと思っています。

若者の投票について

鈴木氏 学校で先生から「今度の選挙は、みんな行くの？」という話題になり「僕は投票所入場券が届いた」と話したら、届いてるかどうかも知らない子たちもいて、選挙に対する意識はみんな高くないんだなというのをすごく感じました。若者の投票率が低いと言われるけど、たとえば物が安くなったりとか、ご飯が安く食べられる

僕自身が結構親近感を持って応援していたけど機会が多い芸能界にいるからこそ、やっぱり同年代で活躍されていたりとか、同年代で頑張っているというのを見ると少し応援したくなるなというのはあるので、実際俳優さんだったり、女優さんだったり、アイドルだったりとか、スポーツ選手もそうですけど、若い方というのは同世代としてす



ごく応援したくなるし、それと同じで、もし被選挙権の年齢が引き下がるとなれば応援することもあ
るのかなと思いますね。

佐々木氏 おっしゃる通り。それは無視できない非常に重要なファクターだと思います。若い人がいろんな試みを始められるとなると、恐らくその下の世代が見ていて、若い世代へのいい影響がどんどん続いていきますからね。

投票率をあげるために

鈴木氏 僕がちょっと前に考えたのが、一番投票率を上げるのにいいのは、休みをもらうことなんじゃないかなと。投票したら休めるという。そうしたら、たぶん投票に行

のではないかと私は思ってます。

鈴木氏 それも面白いですね。

佐々木氏 「当選者が出なかったので、2週間後にもう一度やりませう」というようなことがあれば投票率は上がるのではないか。フランスの選挙制度では、5割の票を取らないと当選できない仕組みとなってます。決戦投票となる二回戦を2人だけでやって50%以上の票をどちらかが取るようになってる。一回戦はワーツとたくさん候補者が出て、なかなか50%の票が取れない。ですが、決選投票をすれば2週間ゆっくり考えて「前はこっちに入れたんだけど、今度はこっちに入れよう」というように慎重に候補者を選ぶことができる。ただ、日本の社会では甚だ評判が悪くて、2

くという理由で休めるし、投票に行つたということで休めれば、みんな投票するんじゃないかなと。

佐々木氏 なるほど。いいですね。

鈴木氏 忙しくて投票に行けないという人たちをなくす一番の大きな動きになるんじゃないかなと。高校も有権者だけになってしま



回も選挙管理をやるのはうんざりだというような声も聞こえるんですよね。いずれにせよ投票率の問題は長期的に考えるべきテーマで、おっしゃるように公欠にして学校や会社を休みにするというのは1つの手だとは思いますがね。

鈴木氏 選挙権を持つ全ての人がどこかのタイミングで休みを取れるという制度ができれば、絶対みんな休みが欲しいから投票に行くんじゃないのかなと思いました。もちろん投票日を休みにするというのも1つの手だとは思いますが、それだと1日フルで使えるというわけにもいかないし、選挙管理の方々はお仕事としてやらなきゃいけない部分が出てきてしまうし。そこに関しては、選挙に行った証明書を持って会社に申請したら、

ますが、学校を1日公欠として休めるので。

佐々木氏 確かに。そうしたら、高校生も行きますもんね。

鈴木氏 平日に「デイズニーとかに行きたいし（笑）」

佐々木氏 （笑）

佐々木氏 投票率を低くしている原因は有権者にあるのか、政党にあるのか。頑張らなきゃいけないのは、候補者なのか、有権者なのか。これも永遠の問題。とにかく選挙をやれば必ず当選者が出ちゃうというのでもいいような悪いようなもので、時々「選挙をしましたけど、投票率が低く当選者は出ませんでした」みたいなものがあったも

その日は1日休みというふうにした方がいいのかなと思いました。

佐々木氏 なるほど。しっかり考えているんですね。おもしろいアイデアが聞けてよかったです。

鈴木氏 こちらこそ、本日はいろいろと勉強になりました。ありがとうございました。

